

アートスタートプログラム実施に関する協定書

堺市（以下「甲」という。）及び公益財団法人堺市文化振興財団（以下「乙」という。）は、「アートスタートプログラム」（以下「事業」という。）を実施するための基本的な事項について以下のとおり合意し、この協定（以下「協定」という。）を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、この事業を通して、施設や地域などの身近なところへ芸術家等を派遣することで文化芸術鑑賞・体験の機会の充実を図るとともに、将来の芸術家やそれら活動を支える人材を育成し、次代を担う子どもたちの豊かな心と感性を育むことができる環境づくりにつなげることを目的とする。

（主催）

第2条 この事業の主催者は、甲及び乙とする。

（業務の分担）

第3条 事業実施に伴う業務の分担は、次のとおりとする。

甲は、事業全般を総括し、事業の進捗状況などを監理するとともに、次の各号に定める業務を行う。

- (1) 事業計画に関すること
- (2) 実施希望施設の募集及び実施希望調書の受付に関すること
- (3) 実施校の選定及び連絡・調整に関する業務
- (4) 子ども青少年局等との連絡・調整に関する業務
- (5) 上記(1)から(4)の業務に付帯する業務

2 乙は、次の各号に定める業務を行う。

- (1) 事業実施に関する業務
- (2) 講師予定者との出演交渉に関する業務
- (3) 事前打合せ及び実施内容の連絡・調整に関する業務
- (4) 事業実施に係る経費支出に関する業務
- (5) 上記(1)から(4)の業務に付帯する業務

（事業にかかる経費）

第4条 事業を行うための経費（以下「事業経費」という。）は、甲の負担金をもって充てる。

2 甲は、事業経費 金2,000,000円を、次のとおり乙に負担金として支払う。

1回目 5月 金1,000,000円

2回目 11月 金1,000,000円

3 前項の規定による支払は、乙の請求があった日から30日以内に行うものとする。

4 経済状況等の著しい変動その他特別な事情が生じた場合には、甲乙協議し、負担金を変更することができる。

（会計）

第5条 会計は、協定締結日に始まり、令和3年3月31日をもって終わる。

(報告)

第6条 乙は、事業終了後30日以内に事業報告書及び収支決算書を作成し、本業務専用の出納簿を添付のうえ甲の検査を受けなければならない。ただし本項は、協定の有効期間終了後も有効とする。

2 前項の検査の結果、余剰金が生じたときは、乙はこれを甲に返納し、不足が生じたときは、乙はこれを甲に請求することができない。

(経理)

第7条 事業経費に係る経理事務については乙が行うものとする。

2 乙は、乙の経理規程に基づき、事業経費を適切に管理しなければならない。乙は、甲の求めに応じ、関係する書類や伝票等の開示に努める等、事業経理を厳正に行わなければならない。

(個人情報等の取扱い)

第8条 乙は、事業運営業務の遂行上知り得た個人に関する情報の取扱いにあたっては、堺市個人情報保護条例第49条第1項の規定を遵守しなければならない。

2 乙の従事者は、事業の遂行上知り得た秘密を外部に漏らし、又は不当な目的に使用してはならない。

(協定の有効期間)

第9条 この協定の有効期限は、協定締結日から令和3年3月31日までとする。

(規定外事項等)

第10条 甲及び乙は、この協定書に定めがない事項及びこの協定書の解釈について疑義が生じた場合は、双方誠意をもって協議し、決定するものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

令和2年5月13日

甲

所在地 堺市堺区南瓦町3番1号

名 称 堺市

代表者 堺市長 永藤 英機 ⑩

乙

所在地 堺市堺区翁橋町2丁1番1号

名 称 公益財団法人 堺市文化振興財団

代表者 理事長 梅原 利之 ⑩